

2006.9月作品



「もう少し素早い対応が出来ていれば…」

小規模ビル・事業所向け消防訓練マニュアル 出来ることから始めよう

こんなに簡単！消火・通報・避難訓練



平成13年の歌舞伎町ビル火災の大惨事の原因のひとつといわれるものが、初期消火、通報及び避難誘導が適切に行われなかったことにある、といわれています。もし、当該ビルのオーナーやテナントの責任者、従業員が消防訓練の経験者であり、適正な初期対応がとられていたら、これほどの被害には至らなかったであろう、と見るむきもあります。

消防庁では、こうした状況を踏まえ「小規模ビル等避難訓練マニュアル」を作成、配布しています。

本ビデオは、この「小規模ビル等避難訓練マニュアル」の教則的な位置づけで作成、ビデオ映像が持つ多面からの表現で、「消防訓練の効率的な実施法」や「その意義・効果」を強く訴えます。

また、消火設備などの適正な使用方法や手順を解説、テロップなどを付加して解りやすく解説しています。

小規模ビル・事業所向け消防訓練マニュアル

出来ることから始めよう

こんなに簡単！消火・通報・避難訓練

主な収録映像

- 火災発生通報 ●非常放送 ●廊下避難訓練 ●階段避難訓練 ●一号消火栓取り扱い ●消防査察・指導
- 避難器具取り扱い(緩降機) ●解体中の新宿明星ビル ●関係する解説、他

作品内容レビュー

■消防署 予防課課長

買い物中に火災が発生、従業員があわてているような所では、買い物はしたくありませんね。危機意識に乏しい企業は生き残れません。

■レポーター

どっちに避難したらよいのかあわててしまいそう…

■ホテルオーナー

冷静に行動を。まず、消防署への通報、他の者は各フロア一方向かいお客様を避難誘導すること。

■消防署 査察課査察員

店長さん、出入り口付近や階段には物品を置かないようにしてください。

■レストラン店長

ここにしか置くところがないのですが。

■消防署 査察課査察員

避難のための階段が一つしかありません、絶対に物を置かないように。

■消防署 査察課査察員

結果表にもとづき、至急改善してください。

■消防署 指導員

ホースのよじれなどを確認、補佐をすること。

■訓練員

放水、始め！

■緩降機 体験指導

避難器具は最後に使用するもの、と考えて下さい。

■東京理科大学 菅原教授

咄嗟の時に冷静な行動がいかにとれるか、その為にも消防訓練は大変重要です。



制作協力(順不同)

東京消防庁新宿消防署/さいたま市消防局/ホテルサンオーク/松本機工株式会社/亀田食堂

レポーター

桜 芳菜

監修

菅原進一(東京理科大学教授)

演出・構成

永沼 慎

プロデューサー

篠原 修

(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp